

報道関係者各位

2014 年 2 月 20 日
アットホーム株式会社

トレンド調査

—「“UNDER30”私たちの選び方 ～部屋探しのプロセス&マインド～」(2013 年 首都圏)—

一人暮らしの学生・社会人 平均家賃は前年比増 「スマホで部屋探し」社会人女性は半数超

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛)は、全国の 5 つのエリア(北海道・東北エリア、首都圏エリア、中部エリア、近畿エリア、九州エリア)で一人暮らしをしている、18～29 歳の学生・社会人男女を対象に、現在住んでいる部屋を探した際のプロセスやマインドの変化について、アンケート調査を実施いたしました。その中から、“首都圏エリア”の主な結果をご案内いたします。

※本アンケート調査は、昨年まで実施していた「一人暮らしの実状と部屋探しについて」のアンケート調査をリニューアルしたものです。

<主な調査結果>

◆平均家賃は学生・社会人ともに前年比増。

現在の家賃を聞いたところ、学生は平均 5.90 万円、社会人は平均 6.33 万円でした。前年の調査結果と比べると、学生は 0.30 万円アップ、社会人が 0.22 万円アップと、僅かに増加。平均家賃が前年比増となったのは、学生は 2007 年、社会人は 2009 年の調査開始以来初めてです。

◆家賃以外に重視した点は、学生 1 位「通勤・通学時間」、社会人 1 位「間取り・広さ」。

家賃以外で最初から最後まで変わらず重視したことを聞いたところ、学生は 1 位が「通学時間」で半数以上にのぼり、次いで 2 位が「最寄駅から近い」、3 位が「間取り・広さ」という結果でした。一方、社会人は 1 位が「間取り・広さ」で約半数、2 位が「最寄駅から近い」、3 位が「通勤時間」となっています。

◆「築年数」は妥協の対象。男性は女性よりも妥協する傾向。学生女性はセキュリティを妥協できない。

家賃以外で妥協したものを聞いたところ、学生・社会人ともにトップは「築年数」でした。男女別で比較すると、男性は女性よりも妥協項目が多く、男性は何らかの条件をあきらめ、女性は最後までこだわる傾向が伺えます。また、学生女性は「階数」「セキュリティ」「治安」といったセキュリティに関する項目の選択率が低く、安全第一を貫いているようです。

◆学生は社会人よりも部屋探しにかかる日数が短い。学生男性は 2 割が「1 日」。

部屋探しを始めてから契約までにかかった日数は、学生は「1 日」という人が 17.6%で社会人の 2 倍以上、「2、3 日」と合すると 27.2%でした。一方、社会人は「1 ヶ月くらい」と「1 ヶ月超」の合計が 39.9%と、約 4 割にのぼっており、全体的に学生は部屋探しにかかる日数が短く、社会人は日数をかけてじっくり検討しているようです。特に学生男性では「1 日」が 2 割、「2、3 日」と「1 週間くらい」を合わせると半数に達し、スピーディーに部屋探しを行っている様子が伺えました。

◆部屋探しの方法は「PC 検索」が圧倒的多数。社会人女性では「スマホ検索」が半数超。

部屋を探した際、利用した方法について聞いたところ、学生・社会人ともに「PC 検索」が 7 割を超え、圧倒的に多い結果となりました。2 位は、学生が「不動産会社を直接訪問」で 35.9%、社会人が「スマホ検索」で 4 割以上にのぼっており、なかでも社会人女性は「スマホ検索」が半数を超えています。

<調査概要>

◆調査対象／全国 5 つのエリア（北海道・東北エリア、首都圏エリア、中部エリア、関西エリア、九州エリア）で一人暮らしをしている、18～29 歳の学生・社会人、計 2,074 名。うち首都圏エリアは 831 名。

◆調査方法／インターネットリサーチ

◆調査期間／2013 年 9 月 26 日（木）～9 月 30 日（月）

◆調査回答者 エリア内訳

	学生(人数)			社会人(人数)		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子
全体(人数)	1035	473	562	1039	488	551
北海道・東北エリア	158	78	80	157	64	93
首都圏エリア	415	190	225	416	208	208
中部エリア	153	65	88	157	75	82
関西エリア	156	78	78	156	78	78
九州エリア	153	62	91	153	63	90

◆調査内容について

現在の部屋のスペックから、その部屋を探したきっかけや時期、探した時の方法や行動、感じたこと、重視したこと、そしてその結果の満足度まで、若者の部屋探しのプロセスとマインドの変化について合計 41 項目を調査しました。

◇首都圏エリアの調査回答者 基本属性

	学生(人数)			社会人(人数)			全体(人数)		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
東京都	182	85	97	104	52	52	286	137	149
神奈川県	103	46	57	104	52	52	207	98	109
埼玉県	85	34	51	104	52	52	189	86	103
千葉県	45	25	20	104	52	52	149	77	72
首都圏エリア	415	190	225	416	208	208	831	398	433

	学生			社会人		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
仕送りを受けている人の割合	80.7%	76.8%	84.0%	5.3%	3.8%	6.7%
仕送りの平均	7.18万円	7.45万円	6.98万円	8.60万円	4.85万円	10.75万円
毎月の収入の平均	11.24万円	18.91万円	4.76万円	19.14万円	20.49万円	17.80万円

※学生男性の収入、学生の全体の毎月の収入の平均については参考値

■■報道関係者へのお願い■■

本リリース内容の転載にあたりましては、「アットホーム調べ」という表記をお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

本リリースに掲載していない項目や、首都圏以外のエリアのデータのご用命は、巻末の連絡先までお問合せください。

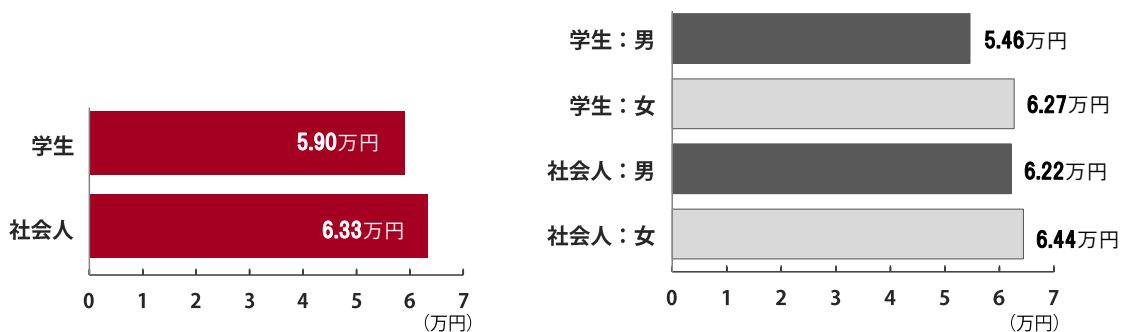
<調査結果>

■平均家賃、学生・社会人ともに前年比増。

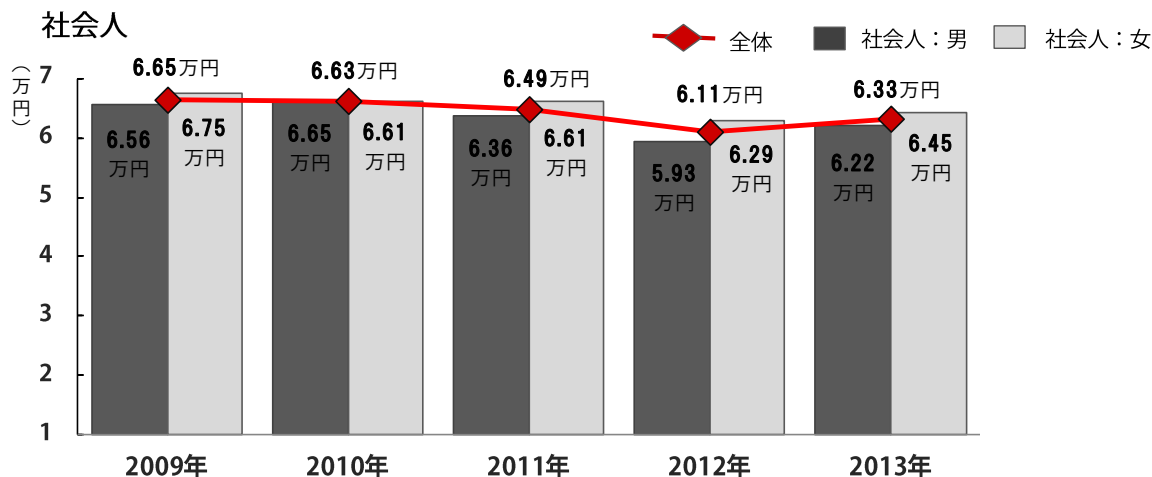
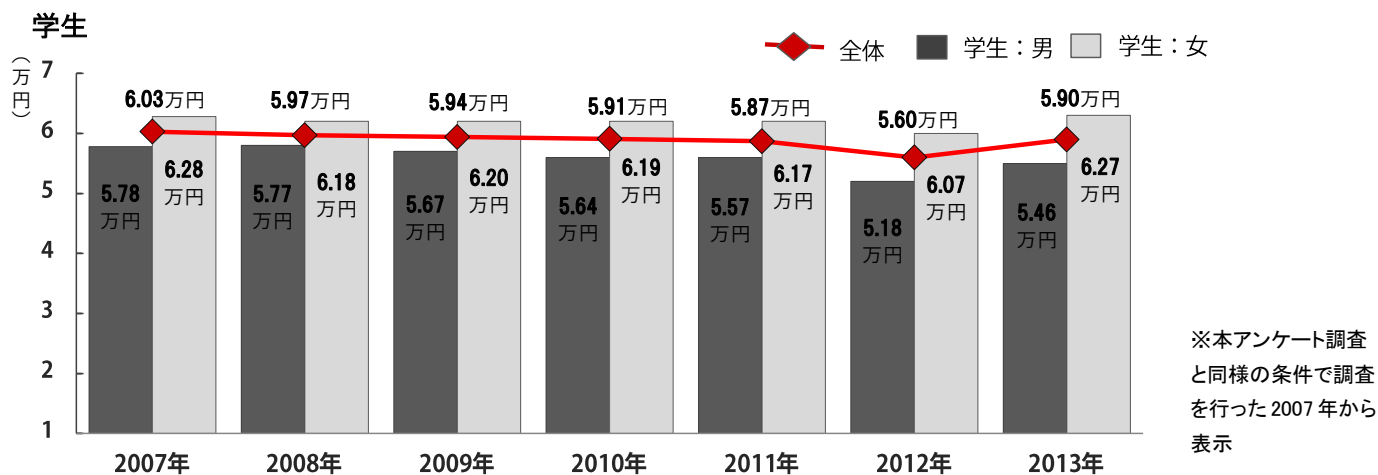
現在の家賃を聞いたところ、学生は平均 5.90 万円、社会人は平均 6.33 万円でした。男女別で比較すると、学生女性は学生男性より 0.81 万円高く、社会人女性は社会人男性より 0.22 万円高い結果となり、女性の方が男性よりも家賃の高い部屋に住んでいることが分かりました。また、前年の調査結果と比べると、学生は 0.30 万円アップ、社会人が 0.22 万円アップと、僅かに増加。平均家賃が前年比増となったのは、学生は 2007 年、社会人は 2009 年の調査開始以来初めてです。

Q. 現在住んでいるお部屋の「家賃」を教えてください。

■平均家賃



■過去調査との比較



■学生女性以外は当初予算よりも実際の家賃を抑えており、
社会人女性では1万円以上ダウン。

前項の「現在の家賃」と「当初の平均家賃予算」を比較してみると、学生女性は予算よりも0.29万円アップしていますが、その他の属性は予算よりも現在の家賃の方が低く、特に社会人女性では1.15万円ダウンと、予算よりもだいぶ抑えた様子が伺えます。

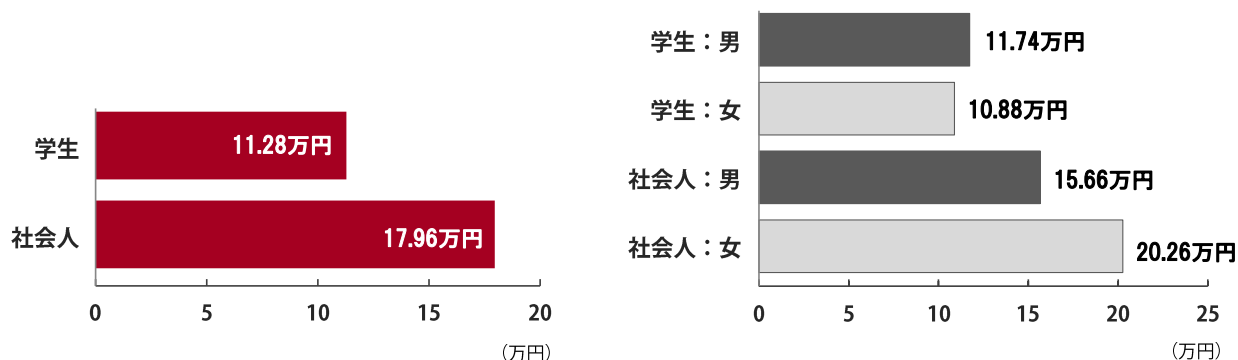
初期費用は、学生と社会人で大きく差がつき、社会人の方が6.68万円高い結果でした。

Q. 現在住んでいるお部屋の「当初の家賃予算」・「初期費用」を教えてください。

■当初の平均家賃予算



■平均初期費用

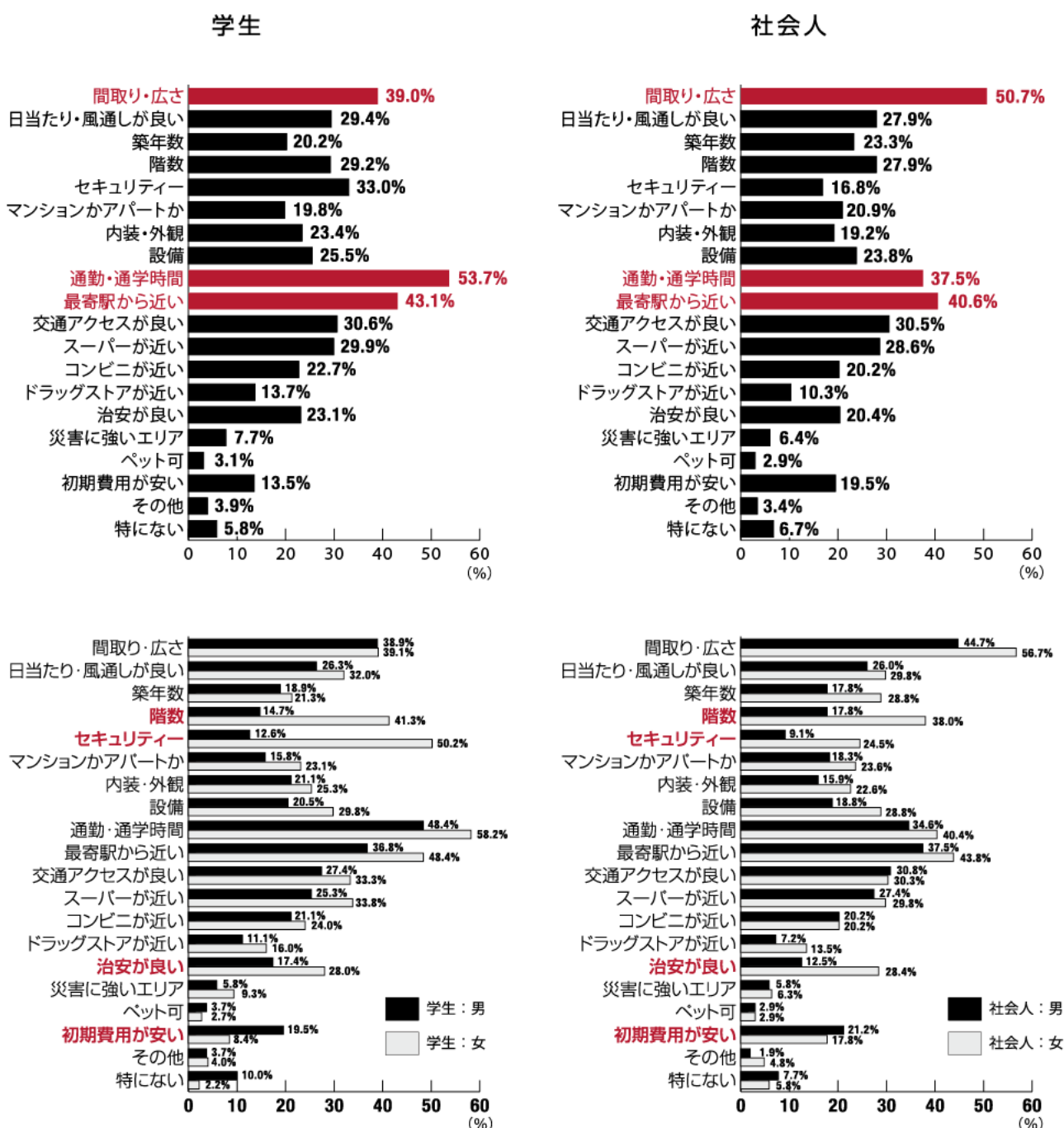


■家賃以外に重視した点は、学生 1 位「通勤・通学時間」、社会人 1 位「間取り・広さ」。
女性ではセキュリティーに関する項目、男性は初期費用の安さを最後まで変わらずに重視。

現在の部屋を探した際、家賃以外で最初から最後まで変わらずに重視したことを聞いたところ、学生は 1 位が「通勤・通学時間」で半数以上にのぼり、次いで 2 位が「最寄駅から近い」、3 位が「間取り・広さ」という結果でした。一方、社会人は 1 位が「間取り・広さ」で約半数、2 位が「最寄駅から近い」、3 位が「通勤・通学時間」となっています。

男女別で比較すると、ほとんどの項目で女性が男性の割合を上回っており、女性のこだわりの強さが伺えました。なかでも「階数」「セキュリティー」「最寄駅から近い」「治安」といった、セキュリティーに関する項目は女性が特に重視しており、男性は「初期費用が安い」ことを女性よりも重視しているようです。

Q. 現在のお部屋を探した際、家賃以外で最後まで変わらずに重視したことはなんですか？（複数回答）

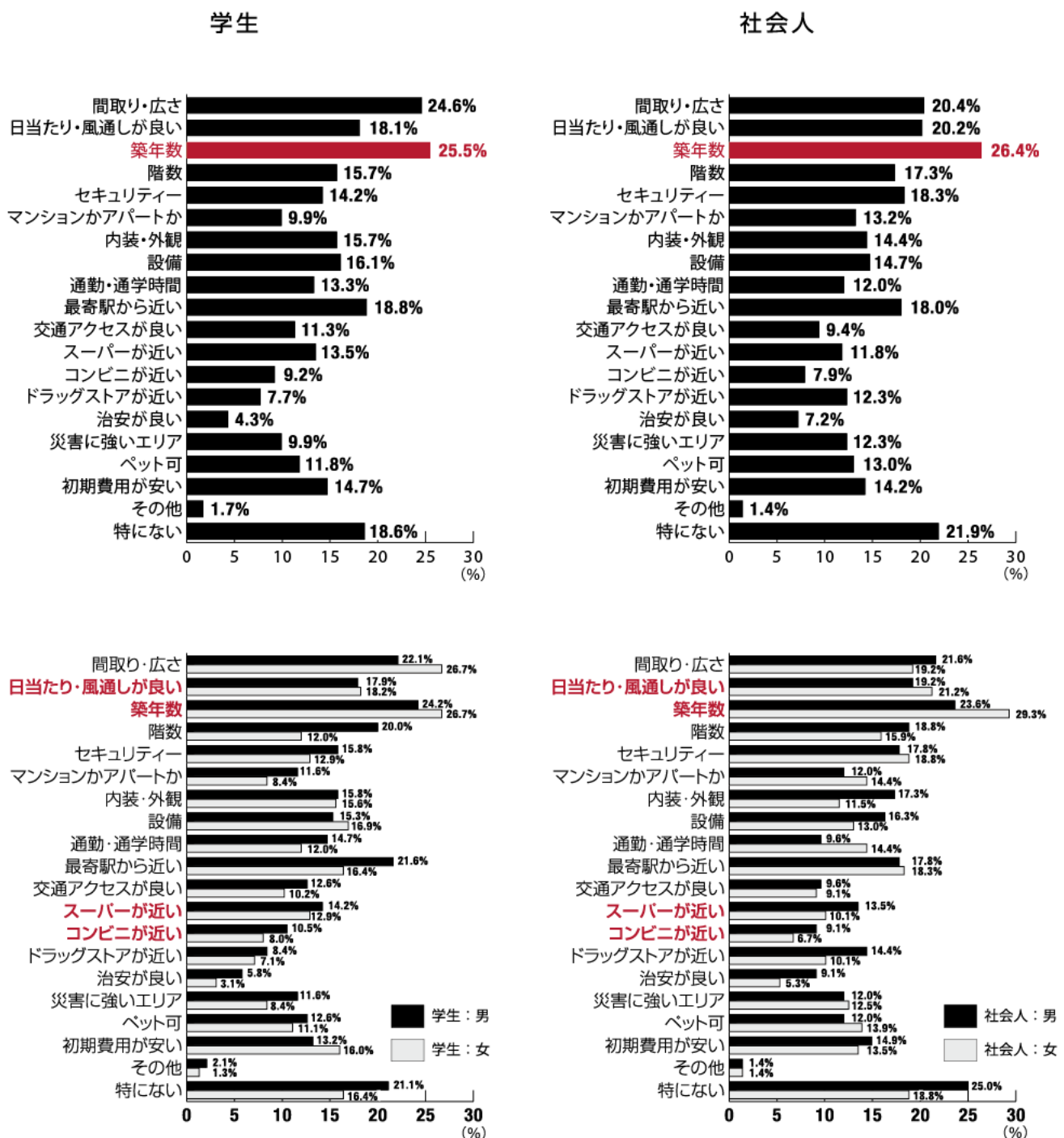


■「築年数」は妥協の対象に。男性は女性よりも妥協する傾向。
学生女性はセキュリティを妥協できない。

部屋を探した際、家賃以外で妥協したものを聞いたところ、学生・社会人ともにトップは「築年数」でした。ともに2位には前項の「最後まで変わらずに重視した」(＝妥協しなかった)でもトップ3内にあった「間取り・広さ」がランクインしており、妥協しなかった人が多かった反面、妥協した人も少なくないという二極化がみられます。

男女別で比較すると、男性が女性の割合を上回っている項目が多く、男性は何らかの条件をあきらめ、女性は最後までこだわる傾向が伺えました。それぞれの妥協点については、男性は「スーパーが近い」「コンビニが近い」等の周辺環境面、女性は「築年数」「日当たり・風通しが良い」等の建物や部屋自体を妥協していることが分かります。また、学生女性は「階数」「セキュリティ」「治安」といったセキュリティに関する項目の選択率が低く、妥協せずに安全第一を貫いているようです。

Q. 現在のお部屋を探した際、家賃以外で妥協したものはなんですか？(複数回答)

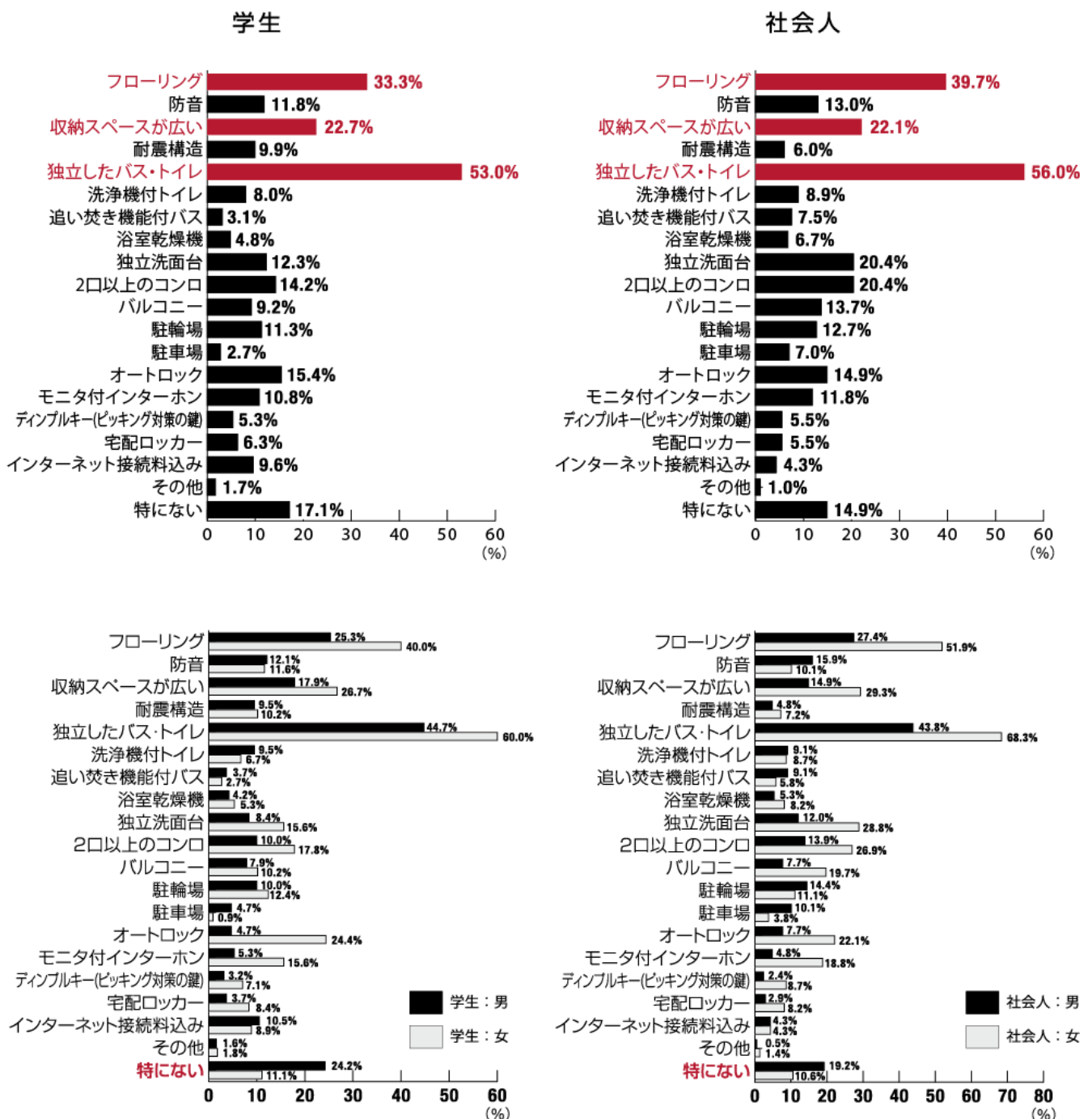


■重視した設備は「独立したバス・トイレ」が圧倒的。
設備に対するこだわりの強さは男女で大きな差。

部屋を探した際、最初から最後まで変わらずに重視した“設備”を聞いたところ、学生・社会人ともに「独立したバス・トイレ」が圧倒的のトップとなりました。2位以下も、ともに「フローリング」「収納スペースが広い」と続き、その他の項目でも学生と社会人で大きな違いは見られませんでした。

一方、男女別で比較すると、「特にない」と回答した人が学生男性で24.2%、社会人男性は19.2%で、女性よりも約10ポイント高くなっており、設備にあまりこだわっていない様子が伺えます。一方、女性は大半の項目において男性の割合を大きく上回っており、設備に対するこだわりの強さは男女で大きく違うようです。

Q. 現在のお部屋を探した際に、最初から最後まで変わらずに重視した設備はなんですか？（複数回答）

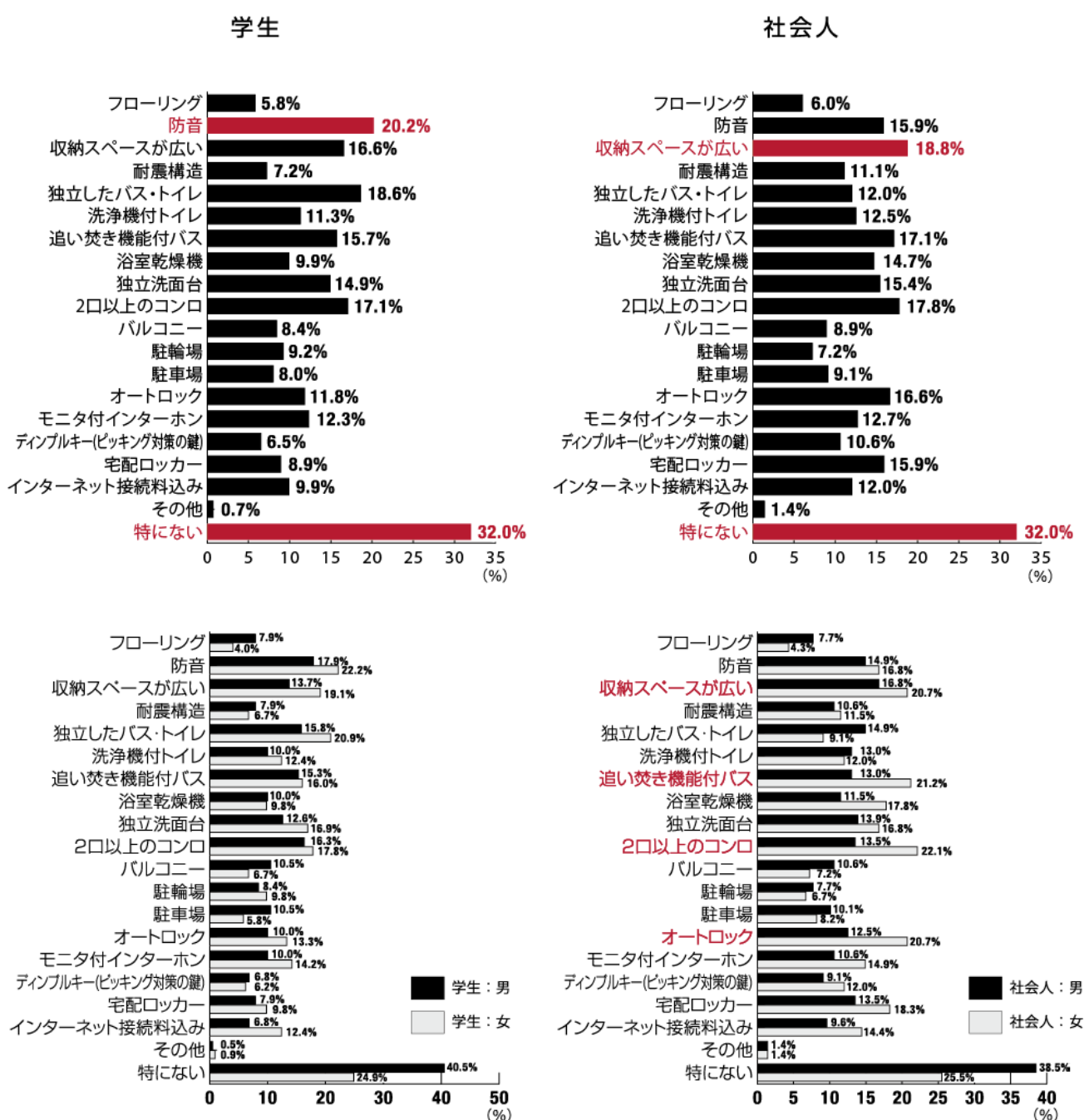


■妥協した設備は、学生「防音」、社会人「収納」。
女性は理想が高い反面、諦めた設備も多い。

部屋を探した際、妥協した“設備”を聞いたところ、最も多かったのは学生・社会人ともに「特にない」で、設備を妥協しなかった人が3割を超えました。妥協した設備の中では、学生は「防音」が20.2%、社会人は「収納」が18.8%でトップ。2位以下は、学生が「独立したバス・トイレ」「2口以上のコンロ」、社会人が「2口以上のコンロ」「追い焚き機能付バス」と続きました。

男女別で比較すると、前項で「重視した設備」が多かった女性が、「妥協した設備」でもほとんどの項目で男性の割合を上回っており、部屋探し初期には設備への理想が高かった分、諦めなければいけなくなった項目も多いようです。特に社会人女性では、「収納スペースが広い」「追い焚き機能付バス」「2口以上のコンロ」「オートロック」の4項目で2割を超え、5人に1人は妥協していることが分かります。

Q. 現在のお部屋を探した際、妥協した設備はなんですか？（複数回答）

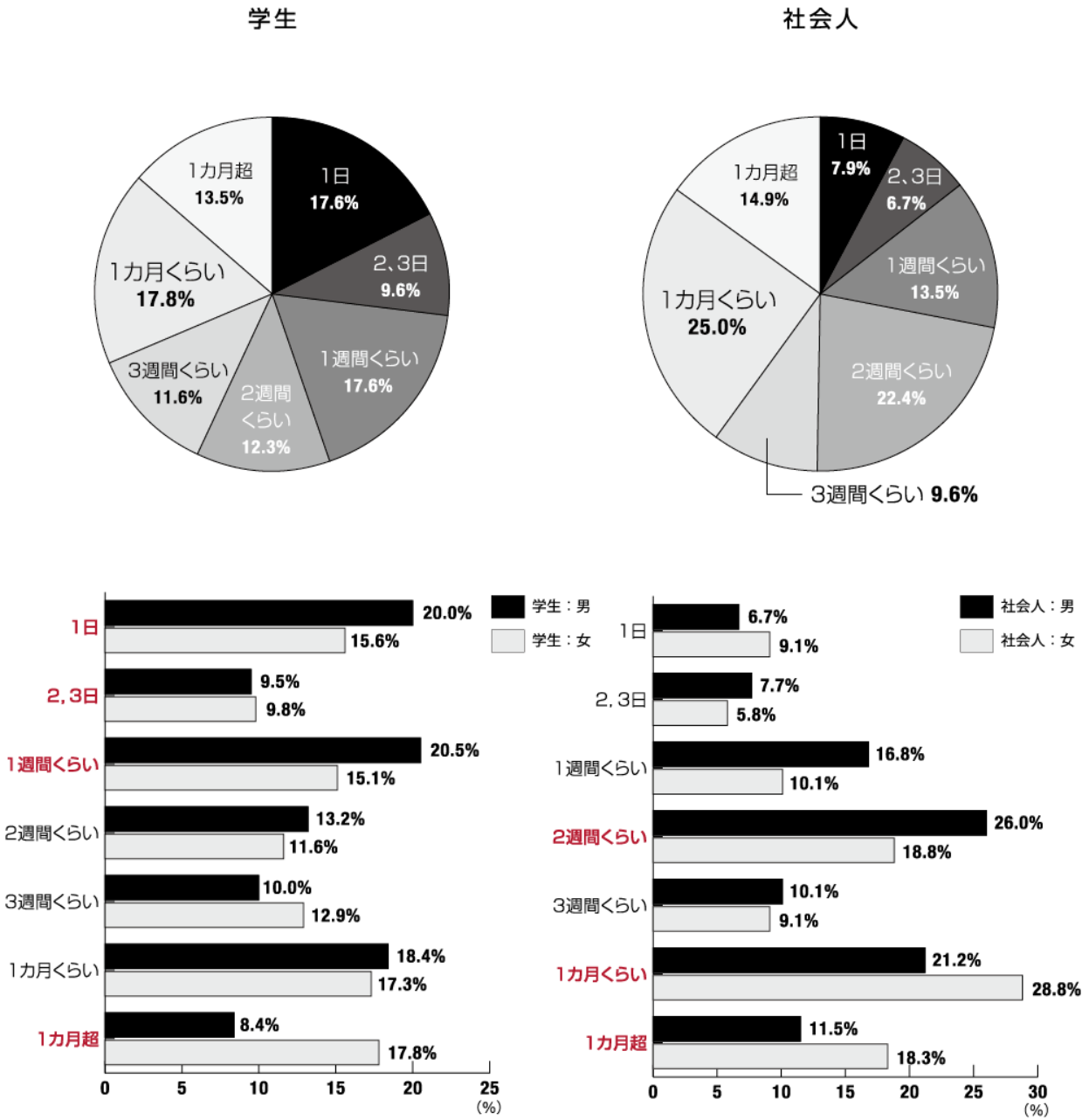


■社会人よりも学生の方が、部屋探しにかかる日数が短い。
学生男性は2割が「1日」。

部屋探しを始めてから契約までにかかった日数は、学生は「1日」という人が17.6%で社会人の2倍以上、「2、3日」と合すると27.2%でした。一方、社会人は「1ヵ月くらい」と「1ヵ月超」の合計が39.9%と、約4割にのぼっており、全体的に学生は部屋探しにかかる日数が短く、社会人は日数をかけてじっくり検討しているようです。

男女別で比較すると、女性よりも男性の方が、日数が短い傾向で、特に学生男性では「1日」が2割、「2、3日」と「1週間くらい」を合わせると半数に達し、スピーディーに部屋探しを行っている様子が伺えました。

Q. 実際に部屋探し始めてから契約までにかかった日数をお答えください。

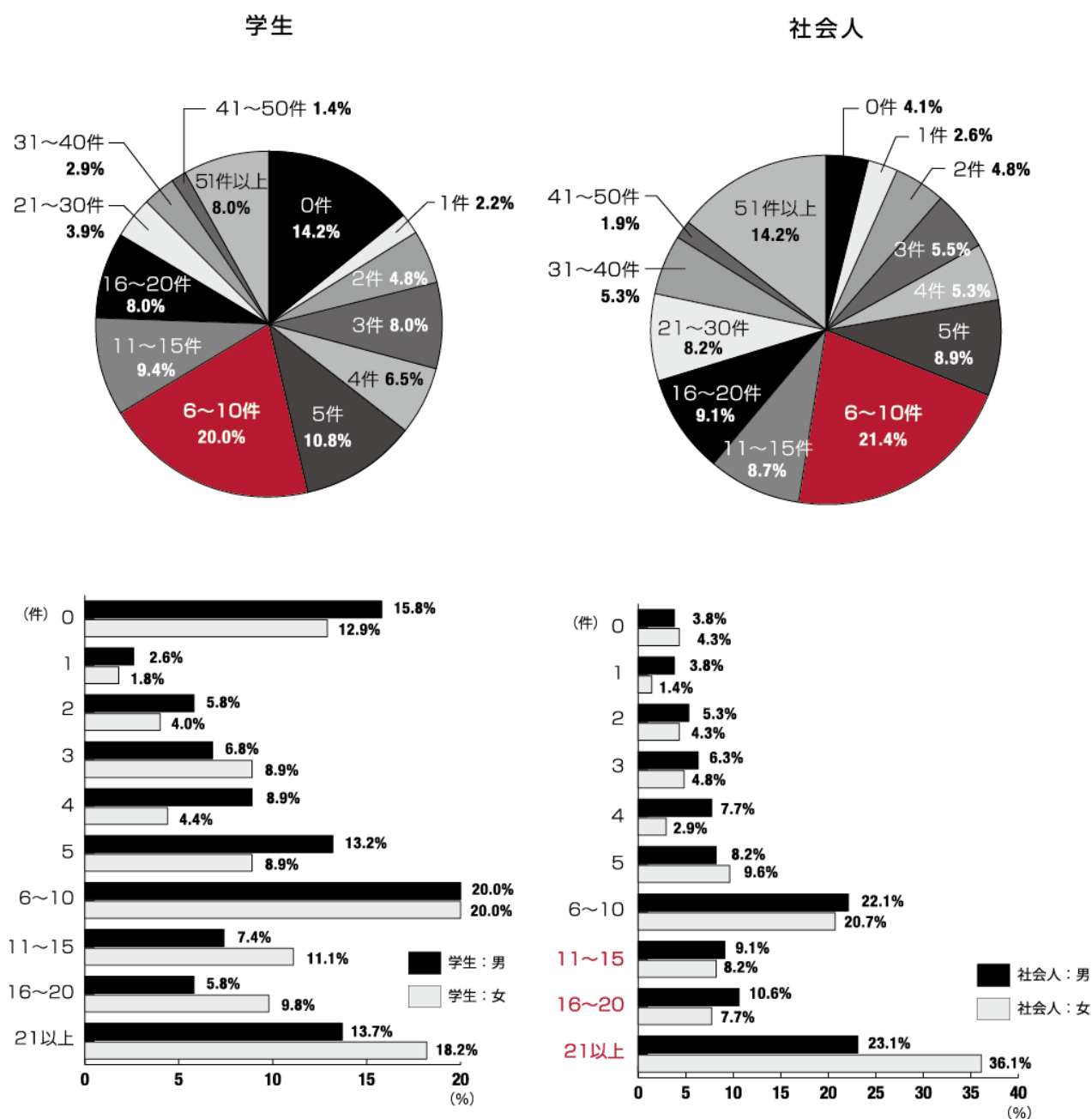


■社会人はネットでの情報収集に積極的で、21 件以上見た人が約 3 割。

部屋を探した際、ネット上で何件の物件を見たか聞いたところ、学生・社会人ともにボリュームゾーンは「6～10 件」で、6 件以上見た人は学生で 53.6%、社会人で 68.8%でした。学生は「0 件」と答えた人が社会人よりも多く、一方社会人は 21 件以上見た人が約 3 割にのぼっていることなどから、学生よりも社会人の方がネットでの情報収集に積極的なようです。

男女別で比較すると、男性より女性の方が、ネットでの閲覧件数が多い傾向で、特に社会人女性は約半数が 11 件以上見ており、ネット上でじっくり物件を比較検討していることが伺えます。

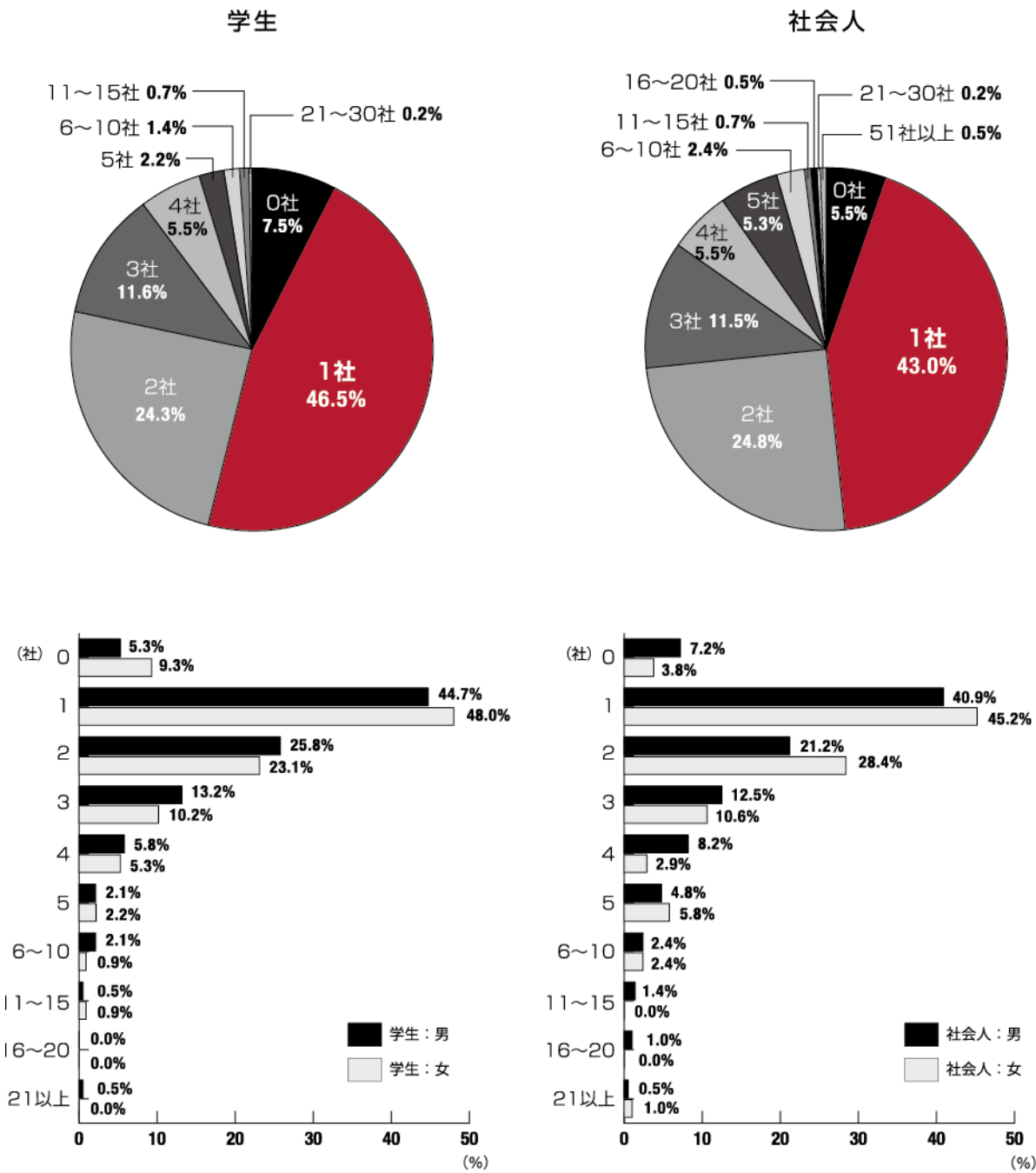
Q. 現在のお部屋を探した際、ネット上で見た物件は何件ですか？



■訪問した不動産会社数は、半数近くが「1社」。

部屋を探した際、訪問した不動産会社の数は、学生・社会人ともに半数近くが「1社」という結果でした。次いで、「2社」が約25%、「3社」が約10%となっており、全体的に訪問件数は少なめの傾向です。ネットやホームページなどで十分に下調べをして絞り込んでから訪問していると考えられます。

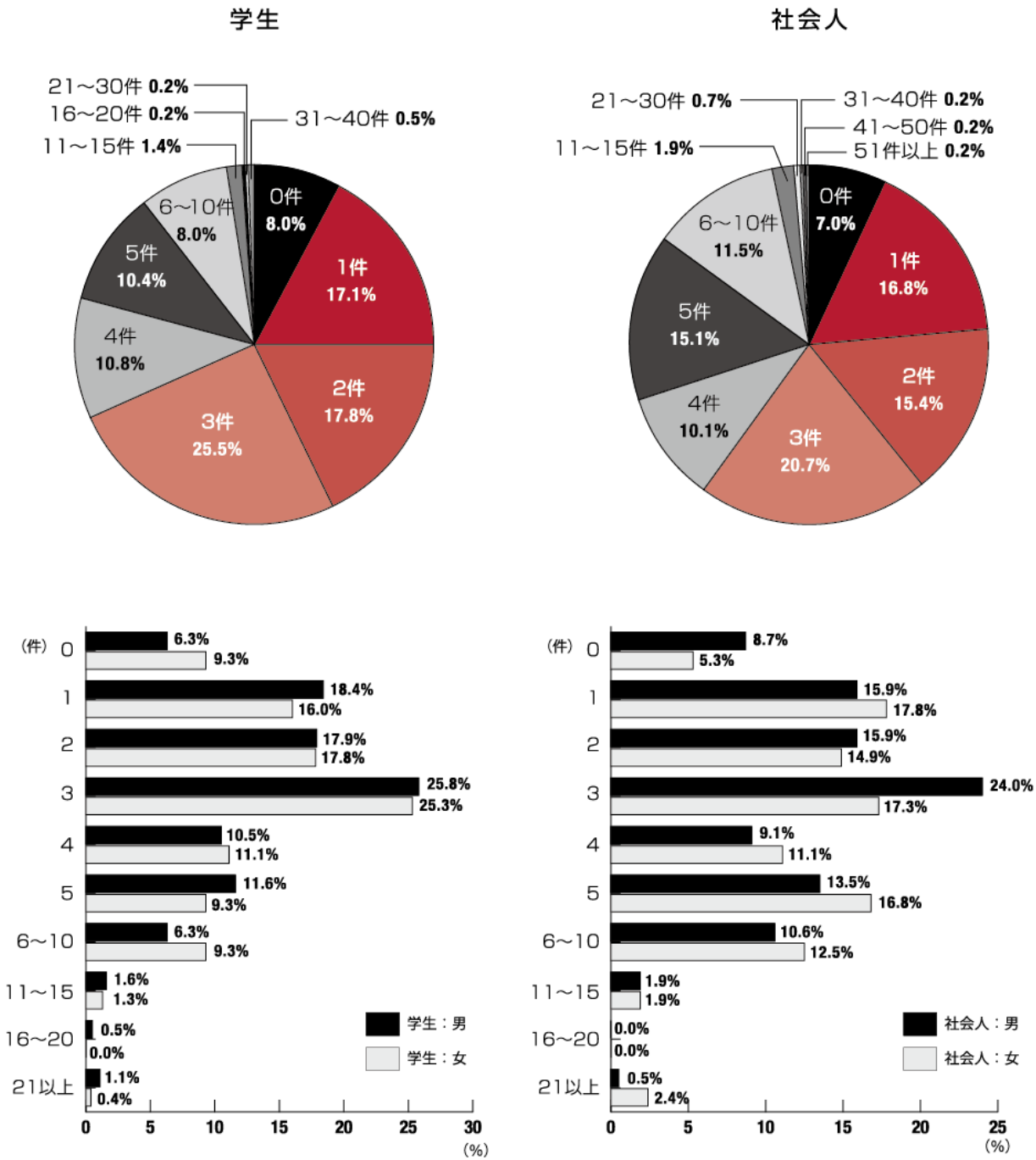
Q. 現在のお部屋を探した際、訪問した不動産会社は何社ですか？



■内見した物件数は、過半数が3件以内。

部屋を探した際、実際に内見した物件の数を聞いたところ、学生・社会人ともに1～3件が過半数で、学生は60.4%、社会人は52.9%が3件以内に収めていることが分かります。一方で、社会人は4件以上という人も約4割にのぼっており、特に社会人女性は、他の属性よりも内見した物件数が多いことから、十分吟味しながら慎重に部屋探しをしている様子が伺えます。

Q. 現在のお部屋を探した際、内見した物件はいくつですか？

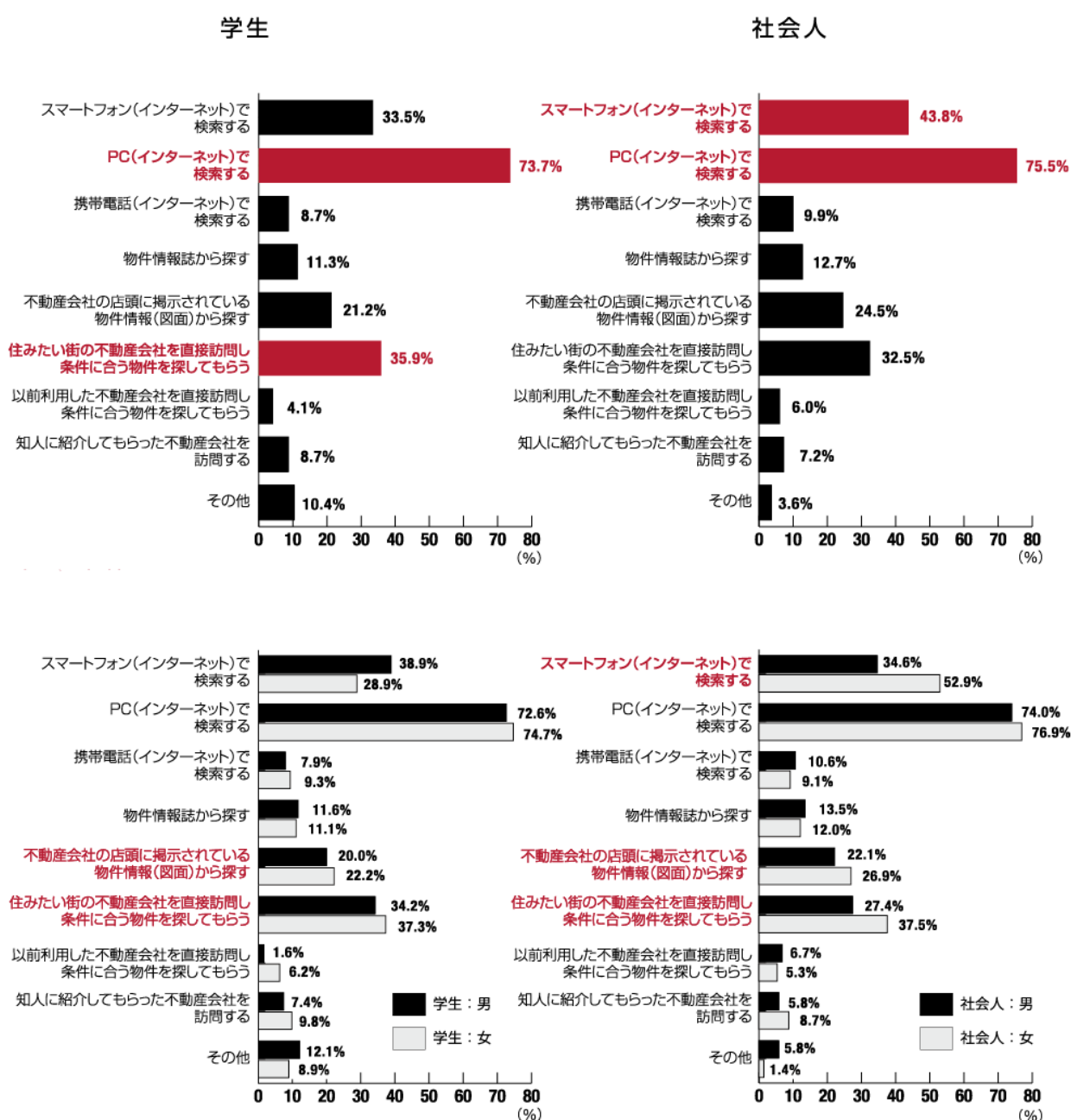


■部屋探しの方法は「PC 検索」が圧倒的多数。 社会人女性では「スマホ検索」が半数超。

部屋を探した際、利用した方法について聞いたところ、学生・社会人ともに「PC 検索」が7割を超え、圧倒的に多い結果となりました。2位は、学生が「不動産会社を直接訪問」で35.9%、社会人が「スマホ検索」で4割以上にのぼっており、なかでも社会人女性は「スマホ検索」が半数を超えています。

男女別で比較すると、「不動産会社を直接訪問」「店頭の物件情報(図面)から探す」は男性よりも女性の方が多く、女性はインターネットでの検索だけでなく、さまざまな方法で情報を収集しているようです。

Q. 現在のお部屋を探した際に利用した方法を教えてください。(複数回答)



■一人暮らしを楽しむには「自由を満喫する」

一人暮らしを楽しむコツを聞いたところ、「自分の時間を自由に楽しむ」といった回答が最も多く、次いで「インテリアやレイアウトで部屋を快適な空間にする」、その他「趣味」や「周辺探索」、「料理」という回答も多く見られ、実家とは違って一人で自由に行えることを楽しんでいる様子が伺えました。男女別で比較すると、上位5位に入る項目は変わらないものの、女性は男性よりもインテリアやレイアウトにこだわっているようです。

少数意見の中には、「友達を誘って宅飲み」、「たまには友達を部屋に招く」というような、友人と一緒に楽しみたいと考える人や、「近所に友人を作る」「住人同士で仲良くする」など、新しい環境の中で積極的に仲間作りをする人もいました。

Q.「私流・一人暮らしを楽しむコツ」を教えてください。(自由回答)

全体

順位	一人暮らしを楽しむコツ	票数
1	自分の時間を自由に楽しむ	143
2	インテリアやレイアウトで部屋を快適な空間にする	101
3	趣味を見つける、没頭する	73
4	住んでいる街を探索をする	37
5	自炊(料理)をする	29

男性

順位	一人暮らしを楽しむコツ	票数
1	自分の時間を自由に楽しむ	76
2	趣味を見つける、没頭する	37
3	インテリアやレイアウトで部屋を快適な空間にする	19
4	自炊(料理)をする	15
5	住んでいる街を探索をする	14

女性

順位	一人暮らしを楽しむコツ	票数
1	インテリアやレイアウトで部屋を快適な空間にする	82
2	自分の時間を自由に楽しむ	67
3	趣味を見つける、没頭する	36
4	住んでいる街を探索をする	23
5	自炊(料理)をする	14

その他の回答(一部抜粋)

- ・「友達を誘って宅飲み」
- ・「たまには友人を部屋に招く」
- ・「近所に友人を作る」
- ・「住人同士で仲良くする」
- ・「ある程度妥協、だけどこだわるところは妥協しない」
- ・「掃除をこまめにして部屋をきれいにする」
- ・「家事など、がんばりすぎない」
- ・「『住めば都』の意識を持つ」